【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公表番号】特表2020-504824(P2020-504824A)
【公表日】令和2年2月13日(2020.2.13)
【年通号数】公開・登録公報2020-006
【出願番号】特願2019-534932(P2019-534932)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　33/44　　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ 220/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　33/44
Ｃ０８Ｆ　220/06

【誤訳訂正書】
【提出日】令和2年11月10日(2020.11.10)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２種以上のアクリル酸モノマーが重合されたアクリル系粘着樹脂共重合体から発生する水分含量を３５５～３６５℃の最終温度範囲で測定し、下記の数式１に代入することを含むアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法：
［数式１］
【数１】

$$\text{AA含量 (\%)} = \frac{W_{H2O} \times 2 \times MW_{AA}}{1000 \times MW_{H2O} \times W_S} \times 100$$

前記数式１において、
ＡＡは、アクリル酸を示し、
W_{H2O}は、測定された水分量（μｇ）であり、
分子部分の"２"は、アクリル酸２ｍｏｌ当たり１ｍｏｌのH_2Oが発生するという意味であり、
MW_{AA}は、アクリル酸モノマーの分子量（７２．０６ｇ／ｍｏｌ）であり、
分母の"１０００"は、重量単位の補正のために使われたものであり、
MW_{H2O}は、水の分子量（１８．０２ｇ／ｍｏｌ）であり、
W_Sは、試料量（ｍｇ）である。
【請求項２】
前記２種以上のアクリル酸モノマーが、アクリル酸（ＡＡ）、エチルヘキシルアクリレート（ＥＨＡ）、ブチルアクリレート（ＢＡ）、メチルアクリレート（ＭＡ）、エチルアクリレート（ＥＡ）、エチルヘキシルメタクリレート（ＥＨＭＡ）、ブチルメタクリレート（ＢＭＡ）、メチルメタクリレート（ＭＭＡ）及びエチルメタクリレート（ＥＭＡ）からなる群からアクリル酸を含んで選択される２種以上である請求項１に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項３】
前記２種以上のアクリル酸モノマーが、アクリル酸（ＡＡ）、エチルヘキシルアクリレ

ート（ＥＨＡ）及びブチルアクリレート（ＢＡ）からなる群からアクリル酸を含んで選択される２種以上である請求項２に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項４】
前記アクリル系粘着樹脂共重合体が、当該アクリル酸モノマー、溶媒及び熱ラジカル開始剤を重合してフィルム状に製作された請求項１から３のいずれか一項に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項５】
前記溶媒が、酢酸エチル（ＥｔＯＡｃ）及び沸点が６０～７８℃である溶媒である請求項４に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項６】
前記熱ラジカル開始剤が、アゾビス（イソブチロニトリル）（ＡＩＢＮ）及びジアゾ基を含む熱ラジカル開始剤である請求項４に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項７】
前記重合が、溶媒の沸点で行われる請求項１から６のいずれか一項に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【請求項８】
前記重合が、６０～７８℃で行われる請求項７に記載のアクリル系粘着樹脂共重合体中のアクリル酸含量の分析方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１４】
一実施態様において、前記アクリル系粘着樹脂共重合体は、当該モノマー、溶媒及びＴＲＩ（熱ラジカル開始剤）を重合してフィルム状に製作される。